

今秋に迫る海づくり大会

豊かな海を未来へ継承する契機に

問 令和4年11月に迫った全国豊かな海づくり大会兵庫大会の開催地として、本市の意気込みを聞く。

答 本市は、先人から受け継いだ豊かな海を未来へ継承していくため、大会を契機に市民と思いを共有するとともに、積極的な取り組みを進めていきたい。



タコつぼに海づくりの思いを込めて

市民生活と経済の回復を目指す 生活・地域経済応援キャンペーン 実施しないのか

問 あかし市生活・地域経済応援キャンペーンは、3月議会で可決した当初予算に掲げた事業であり、実施することは市民に対する公約である。実施が遅れていることの意味を問う。

答 同事業は、キャッシュレス決済ポイント還元とプレミアム付き商品券を併用し、コロナ禍により厳しい状況となった市民生活と地域経済の回復を目指す取り組みである。これまで

研究成果を紹介するコーナーを設置し、情報発信の拠点とするほか、環境面の取り組みとして、さかなクンがデザインしたマイボトルを配布した。また、マダムの稚魚放流や産卵用のタコつぼに思いや願いを描く出前講座を行った。今後も体験や参加ができる取り組みを数多く企画する。さらに、商店街と連携した食のイベントなどを開催し、大会への機運を盛り上げていく。

家庭ごみ

指定袋制度

導入の考えは

問 明石市一般廃棄物処理基本計画の主な推進項目として、家庭ごみの指定袋制度の導入がある。目的はごみの減量と分別の徹底だが、取り組み状況を聞く。

答 家庭ごみの指定袋制度の導入は、市民生活に大きく関わる問題であるため、丁寧な説明が必要である。今後、導入時期を見定めるとともに、ごみ分別マナー

水上バイク

市独自の条例検討

危険行為に罰則

問 水上オートバイの危険運転の取り締まり強化には法整備が必要である。市の考えを聞く。

答 令和3年8月、本市は、市海岸域の水上オートバイの危険行為に対して刑事告発した。9月には、海の安全確保に関して行政機関やマリントレジャーに係る

コロナ禍の商店街 災害時や緊急時に助け合う 強い組織づくりを推進

民間団体、企業関係者による連絡会議を開催し、海岸域利用の現状や安全利用の取り組みについて意見交換した。12月の同会議では、市が10台の監視カメラを順次設置していくこと、新たに水上オートバイ等の安全な利用の促進に関する市独自の

条例を制定することを説明する予定である。条例案では、市独自に遊泳者安全区域を設定し、区域内への水上オートバイ等の乗り入れを禁止し、危険行為には罰則を科す予定だ。今後、意見公募の手続きを行い、市民の意見も聴取していく。

問 コロナ禍における商店街の現状と組織力強化の取り組みを聞く。

答 本市は、個人商店等緊急支援助金事業として、個人商店に対する市独自の緊急融資をはじめ、消費喚起策や店内などの感染対策費用に対して助成を行うとともに、商店街等に参加していない事業者にも積極的に入会の声掛けをするなど、商店街や組合等と連携し、取り組んできた。その結果、コロナ禍における商店街の現状と組織力強化の取り組みを聞く。



商店街への加入店が増加

と認識すると思うが、市の認識を問う。

答 推進会議は、市民参画条例の改廃や市民参画制度の運用状況および評価等を審議するほか、市民参画手続きの運用全般について、市長等に意見を述べる役割がある。平成28年に推進会議は、市民参画制度の見直しが必要となったときや政策提案手続きに再検討の求めがあったときに開催するとしており、ここ数年は開催していない。市民参画の方法は、

豊かな海づくりに向けた提言書を市長に提出



明石市議会では、令和3年6月に明石市議会豊かな海づくり大会推進委員会を設置し、兵庫県や漁業関係者等との意見交換などを通じて、現状と課題を共有し、理解を深めてきました。豊かな海づくりに向けた取り組みは喫緊の課題であり、大会を契機として、より多くの人が豊かな海づくりにへの理解を深め、取り組みが広がっていくよう議会の総意として以下のとおり市長に提言しました。

- 1 全国豊かな海づくり大会兵庫大会について**
大会開催に向けての必要な予算を確保すること。また、市民の認知度を上げるべく、イベントや豊かな海づくりに関する啓発等、積極的な情報発信を行いたい。特に、子供たちに向けた周知を行うことにより、家庭・地域での話題になると考える。さらに、天皇后両陛下の奉迎に係る準備並びに施設改修などについても、県とも連携して遅滞なく進めるほか、バリアフリーにも配慮し、障害の有無にかかわらず誰もが大会を楽しめるよう取り組まれない。
- 2 海の栄養塩を増やすためのさらなる取組について**
沿岸域の生物生産力向上のための施肥(セビ)を行う予算を確保すること。本市では、タコ、イカナゴの漁獲量の記録的な減少が続く、対策は待ったなしの状況にある。施肥と海底耕耘の両者について、持続した取組となるよう将来的な財源確保のための方策を検討し、栄養塩を増やす取組を進められたい。
- 3 パートナースHIPによる持続可能な豊かな海づくりに関する**
豊かな海づくりは、市民、漁業者、行政が一体となり、市全体として取り組んでいくことが大切である。海はもちろんのこと、ため池や河川の清掃活動についても市民と共に取り組むことで、豊かな海についての意識を啓発・共有されたい。また、大会開催を契機として、広く国民に豊かな海づくりにの認識が広まり、その取組が推進されるよう、国・県・他市町と連携して継続的に取り組まれない。

提言書(概要)



全文はこちらから

明石市議会豊かな海づくり大会推進委員会
第5回(9月21日)以降の取り組み
第6回(10月21日)
○全国豊かな海づくり大会兵庫大会開催に向けた基盤整備、大会開催に向けた提言等について協議
第7回(11月2日)
○大会開催に向けた提言等、議会としての取り組みについて協議



泉市長(中央)に提言書を手渡す榎本議長(中央右)(令和3年11月10日)